



アジア太平洋における 3R 推進のための 重層的な連携に関する名古屋公開報告会



途上国への廃棄物管理サービスを拡大している民間・ビジネスセクターの参加を歓迎します

名古屋国際センター・アネックスホール
2014年4月24日（木）午後1時30分から午後5時

言語：日本語（一部逐次通訳）

主催：環境省、国際連合地域開発センター（UNCRD）

後援：国際連合地域開発センター協力会、アジア 3R 推進市民ネットワーク、公益財団法人 地球環境戦略研究機関（IGES）、地域自治体の廃棄物管理サービスを拡大するための国際パートナーシップ（IPLA）ーリオ+20 パートナーシップ

連携協力：ESD ユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会

1. 趣旨

UNCRD は、環境省とともに、3R（廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用）を推進しています。アジア 3R 推進フォーラム第 4 回会合で採択されたハノイ 3R 宣言は、アジア太平洋諸国が、3R に関する政策、プログラム、プロジェクトなどを推進するための重要な基盤と枠組みを提供しています。これには 3R に必要なインフラを、民間セクターとのパートナーシップによって開発する事も含まれます。

環境省と UNCRD はインドネシア共和国環境省と同国公共事業省とともに、「アジア太平洋における 3R 推進の基盤としての重層的な連携と協力枠組み」を全体テーマとして、アジア太平洋 3R 推進フォーラム第 5 回会合を、インドネシア、スラバヤ市で、2 月 25 日から 27 日まで開催しました。

アジア諸国及び太平洋島嶼国からの 33 カ国の政府（アフガニスタン、バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、中国、クック諸島、フィジー、インド、インドネシア、日本、キリバス、韓国、ラオス、マレーシア、モルディブ、マーシャル諸島、モンゴル、ミャンマー、ナウル、ネパール、パキスタン、パラオ、フィリピン、サモア、シンガポール、ソロモン諸島、スリランカ、タイ、東ティモール、ツバル、バヌアツ、ベトナム）、国連組織と国際機関、学術研究機関、NGO、民間セクターや廃棄物管理の専門家等を含む、約 500 名の参加がありました。

参加者は、3R における重層的な連携と協力の重要性を認識し、「アジア太平洋における、発生抑制、再使用と再生利用（3R）を拡大するための重層的な連携と協力の促進に関するスラバヤ宣言（スラバヤ 3R 宣言）」を採択しました。スラバヤ 3R 宣言は、3R の効果的な実行に向けた国家間協力、北南南協力、都市間・地方自治体間協力、産業間連携、政府・非政府間連携、官民パートナーシップ他の推進を表明しています。

名古屋公開報告会では、上記 3R フォーラム第 5 回会合の報告を行うとともに、アジア太平洋において、住みやすく資源効率のよい社会を実現する、途上国と地方自治体の 3R 対応能力と廃棄物管理サービスの拡大を行う民間セクターの参加を呼びかけます。

2. 会議の目的

- アジア太平洋諸国の現状について関心を深めるため、アジア太平洋 3R 推進フォーラム第 5 回会合の結果の報告
- 民間セクターの途上国での廃棄物管理サービス拡大への参入を目的として、途上国に於けるさまざまな能力に関する課題やギャップに関する認識の共有
- 民間セクターが最新のノウハウや技術を説明しながら、ビジネス/官民パートナーシップの可能性を検討している上級政策立案者と実のある話をするという、双方にとって有意義な結果となるよう、民間セクターの積極的な 3R フォーラム参加をよびかける

3. 対象者

一般の方、主に 3R/廃棄物管理に関心・興味のある民間企業、関連団体、NGO、研究機関

4. 定員 先着 200 人

5. 参加費 無料

6. お問い合わせ・お申し込み

国際連合地域開発センター 環境ユニット

メール: 3R@uncrd.or.jp 電話: (052) 561-9382 / 9531



7. プログラム (案) (敬称略)

時間	アジェンダ
13:00-13:30	受付
13:30-14:10	<p>開会あいさつ (10分)</p> <ul style="list-style-type: none">- UNCRD 所長 高瀬千賀子- 愛知県 副知事 森岡仙太 <p>基調講演: (30分)</p> <p>3R 推進における日本の国際協力 環境省環境事務次官 谷津龍太郎</p>
14:10-14:40	<p>アジア太平洋 3R 推進フォーラム第 5 回会合の報告 (30分)</p> <p>UNCRD 環境プログラムコーディネーター チャウダリー・ルドラ・チャラン・モハンティ</p>
14:40-15:00	休憩・スラバヤ 3R フォーラムのスライドショー
15:00-15:45	<p>名古屋市のごみ事情 (15分) 名古屋市環境局ごみ減量部減量推進室 吉原純一</p> <p>ビジネスセクターを廃棄物処理に取り組む: 民間企業から見た実情、制約 そして挑戦ーアジア太平洋 3R 推進フォーラムと IPLA に対する主要メッセージ (15分) (株)熊本清掃社 バイオプラザなごや 代表取締役社長 村平光士郎</p> <p>アジア太平洋 3R 推進フォーラム第 5 回会合に於ける NGO フォーラム (サイドイベント) の報告 (15分) アジア 3R 推進市民フォーラム 議長 (持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長) 崎田裕子</p>
15:45-16:55	<p>公開討議 (70分) (モデレーター: IGES 小野川 和延、UNCRD CRC モハンティ)</p> <ul style="list-style-type: none">- 名古屋市環境局ごみ減量部減量推進室 吉原純一- (株)熊本清掃社 バイオプラザなごや 代表取締役社長 村平光士郎- アジア 3R 推進市民フォーラム 議長 (持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長) 崎田裕子- 北九州市環境局環境国際戦略室長 櫃本礼二- 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課 循環型社会推進室 大東淳 <p>一般・NGO との意見交換: 途上国における廃棄物管理問題をどのように、理解しているのか、また、日本のコミュニティは、よりよく取り組むために何を協力するべきか?</p> <p>民間セクターとの意見交換: 民間・ビジネスセクターの視点から、パートナーシップを進めるための条件 (enabling conditions) に対して、主な障害は何だと思うか?</p> <p>途上国の 3R 対応能力と廃棄物管理サービスの拡大を効果的に行うのに必要な 条件 (enabling conditions) について民間・ビジネスセクターの意見を共有できる機会です。ここで得られた意見は、次回以降のアジア太平洋 3R 推進フォーラムおよび地域自治体の廃棄物管理サービスを拡大するための国際パートナーシップ (IPLA) - リオ+20 パートナーシップ (世界 70 カ国 220 登録メンバー) の課題を方向付けます。</p>
16:55-17:00	閉会